まちのわだい ズームイン



交通安全ポスターコンクールで受賞した児童

安全・安心を体感できるまちの実現へ

■榛南一市一町住民安全大会

「榛南一市一町住民安全大会」が12月17日、相 良総合センター「い~ら」で開催されました。

この催しは、本市と吉田町の関係者らが一堂に会し、防犯まちづくりや交通安全対策に連携して取り組むことにより、「犯罪や交通事故のない、安全・安心を体感できるまち」を実現しようと毎年開催されています。

大会では、交通安全や防犯の功労者の表彰式の ほか、交通安全ポスターコンクールの表彰式、交 通安全に関する講演などが行われました。

ジェンダー平等のためにできることは

■男女共同参画セミナー

市総合健康福祉センターさざんかで12月13日、 男女共同参画セミナー「思いを言葉に〜ジェン ダーバイアスに気付こう〜」が開催され、高校生 や市民、市職員など44人が参加しました。

セミナーでは、御前崎市を中心に男女格差のない社会を目指して活動する「フリージア」のメンバーと市の男女共同参画担当によるパネルディスカッションの後、ワークショップを実施。ジェンダー平等の社会のために、自分でできることや社会に望むことについて考えを深めました。



グループでの話し合いの成果を発表する参加者

端末を使ってメッセージを確認する児童

いくつになっても自分の歯で

■ 8020コンクール表彰式

市内では本年度、80歳になっても自分の歯を20 本以上保つ「8020」を21人が達成しました。 中でも特に優秀と認められた3人が県のコンクー ルで受賞したことから、このたび、ミルキーウェ イスクエアで開催された「マキノ歯フェスタ」に おいて表彰式が行われました。

表彰を受けたのは、「8020推進財団理事長賞」を受賞した中村勝治さん(細江区)、「静岡県歯科医師会長賞」を受賞した池田ひとみさん(静波区)と谷下義久さん(勝間田区)の3人です。



県コンクールで受賞した中村さん(左)と池田さん(右)

「プログラミング的思考」を学ぼう

■プログラミング教室

12月8日と15日の2日間に渡り、牧之原小学校6年生29人を対象にプログラミング教室が行われました。この講座は、株式会社マキノハラボによる出前授業として、子どもたちに「筋道を立てて考える力(プログラミング的思考)」を学んでほしいと企画されました。

児童は、事前にパソコンでプログラミングしたマイクロビットといわれる端末(教育用マイコンボード)を使って、お互いにメッセージのやりとりを楽しみながら学びました。

広報担当がどこにでも取材に行きます。 あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ち しています。 情報交流課 ☎②0040 ▽Seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp



「さがら ひがし号」出発式の様子

市内全域への導入が実現

■デマンド乗合タクシー出発式

市では、高齢者や障がい者、自動車の運転 免許証を持っていない人などを対象に、会員 制の予約型(デマンド)乗合タクシーを運行 しています。12月2日から相良区・福岡区・ 大沢区・大江区・片浜区で「さがら ひがし 号」が、12月5日からは波津区・須々木区で 「さがら にし号」が運行を開始しました。これにより、市内全域にデマンド乗合タクシーが導入されたことになります。

それぞれの運行開始日に行われた出発式では、杉本市長や地元議員、地元区長や区役員が見守る中、運行事業者である御前崎タクシー株式会社によるタクシーの体験乗車も行われました。

日頃の感謝を込めてお茶を振る舞う

■相良小学校「6の1のお茶屋さん」

相良小学校 6 年 1 組では、ふるさと科(総合的な学習の時間)にお茶について学び、その成果を発表する場として、校内で「6 の 1 のお茶屋さん」を開きました。

12月13日には、日頃から児童の活動にボランティアで協力している地域の皆さんを招待。「牧之原茶」「川根茶」「鹿児島茶」「宮崎茶」を振る舞ったほか、市内企業とのコラボで商品化し、パッケージに児童のイラストを使った「オリジナルレモングラスティー」の販売も行いました。



地域の皆さんに各地のお茶の特徴を説明する児童



黒米の上に具材をのせて丼にする地頭方小学校の児童

ビタミンのことをもっと知って

■「鈴木梅太郎丼」が給食に登場

鈴木梅太郎博士(地頭方小学校の卒業生)が「ビタミンB1」を発表した日にちなんだ「ビタミンの日」である12月13日、相良地域の小中学校と幼稚園の給食に「鈴木梅太郎丼」が登場しました。

これは、梅太郎博士が教授を務めた東京大学農学部の学生食堂の名物丼を参考に作られたもので、ビタミン豊富な豚肉と玉ねぎ、刻んだ梅干しが入っています。丼を考案した鈴木奏美栄養教諭は「この丼をきっかけに、梅太郎博士のことや栄養のことを知ってもらいたい」と話しました。

11 ■ MAKINOHARA 2023.01 2023.01